

県立姫路別所高等学校 英語 CAN-DO リスト

	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
1	• ゆっくり、または繰り返し話されたら“Stand up.”“Come here.” “Listen carefully.” などの短い指示を理解することができる。 • “classroom” “movie”などの日常生活の身近な単語や簡単なあいさつを聞きとることができる。 • “How are you?” “Nice to meet you.”などの簡単な挨拶の言葉を聞き取ることができる。	• 日常生活の身近な単語を発音することができる。 • 自分についてのごく限られた情報（名前、年齢など）を含め、簡単な自己紹介をすることができる。 • 基礎的な語句を使って「助けて」や「〜がほしい」など自分の要求を伝えることができる。必要ならほしいものを指差しするなどして自分の意志を伝えることができる。	• ブロック体で書かれたアルファベットを正しく認識することができる。 • “bathroom”などの日常生活の身近な単語の意味を理解することができる。 • 「駐車禁止」「飲食禁止」など、日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。	• アルファベットの太文字、小文字をブロック体で書くことができる。 • 簡単な単語・語句・短い文を正確に写すことができる。 • 日常生活の身近な単語を正確に書くことができる。 • 曜日や月名、数字（2ケタ）を正確に書くことができる。
2	• ゆっくりはっきりと話されたら数字・物の値段・日付・曜日・月・季節などの情報を正確に聞き取ることができる。 • ゆっくりはっきりと話されたら“Open your textbooks.” “Talk with your partner.”などの授業でよく使われる指示を理解することができる。 • ゆっくりはっきりと話されたら、ALT の自己紹介など、身近なトピックについての具体的な情報を理解することができる。	• 日常生活の簡単な挨拶や数字・日付・季節・天気・場所などの簡単な情報を伝えることができる。 • 相手の言っていることが分からないときに繰り返し分かりやすく話してもらるように頼むことができる。 • 家族、趣味、日課などの個人的な話題について基礎的な文を使って質問したり質問に答えたりできる。 • 授業でよく使われる”Stand up” , “Sit down” などの簡単な表現ができる。	• 簡単な地図を見て、“OO station”“OO road”“OO store”などと書かれた目的地を探すことができる。 • 身近な単語で書かれた短い英文の内容をイラストや写真も参考にしながら理解することができる。 • レストランなどの絵や写真付きのメニューを理解し、選ぶことができる。	• メッセージカード、身近な事柄や情報に関して短いメモを書くことができる。 • 自分について基本的な情報（名前、住所、家族など）を、辞書を使って短い句または文で書くことができる。
3	• ゆっくりはっきりと話されたら自分の趣味、興味のあることや、家族、学校、地域など身の回りに関する短い話や質問を理解することができる。 • すでに習った短い英文を聞いて、内容を理解することができる。 • ゆっくりはっきり話されたら ALT の指示に従って活動することができる。 • （買い物や外食などで）簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきり話されたら理解することができる。	• 簡単な語句を使って自分の感情や感謝の気持ちなどを表現することができる。 • 日常生活の出来事や自分に関することであれば簡単な表現で発表することができる。 • 学校や自分のことなど身近な話題について ALT と短い会話をすることができる。	• 身近な話題に関する簡単な英文や、挿絵のある短い物語や伝記のような文章を単語や熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。 • 身近な話題に関する簡単な英文を読んで、概要や要点を理解することができる。 • 簡単なメールやメッセージによる近況報告や招待状などを理解することができる。 • 簡単な英語で書かれたポスター、グラフなどの情報を読み、理解することができる。	• 自分自身に関すること（趣味、好き嫌い、学校生活や家族など）を簡単な単語や基本的な表現を使って書くことができる。 • 相手に質問や依頼をする短い文を書くことができる。 • 日常生活での出来事や学校生活について簡単な単語を使って書くことができる。
4	• ゆっくり話されたら、ALT の説明を理解することができる。 • 地図を参考にしながら、既習の表現を使った道案内に従って、目的地までの道順を理解することができる。 • 学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。	• 身近な話題について準備をし、複数の文で意見を言うことができる。 • 簡単な表現を用いて人を誘ったり、誘いを受けたり、断ったり、待ち合わせの約束などをすることができる。 • 自分が学んだことや経験したことを簡単な表現を用いて、述べることができる。	• 簡単な英語で書かれたまとまりのある人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介や物語などを熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。 • 簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語をイラストなどの補助を用いて、理解することができる。 • 既習の英文を発音やリズム、イントネーションに注意しながら音読することができる。	• 辞書を使えば、簡単な内容の日記や自分の知っている事など短い文で書くことができる。 • 日常生活での出来事や自分の思いなどを簡単な表現を使って書くことができる。 • 趣味や好き嫌いなどについて、複数の文を用いて簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。
5	• 日本の駅や空港での短い英語のアナウンスを聞いて、内容を理解することができる。 • ゆっくりはっきり話されれば、天気予報やニュース、空港や駅のアナウンスなど自分に関心のある具体的な情報の大部分を理解することができる。 • ゆっくりはっきりと話されたら外国の行事や習慣についての説明の概要を理解することができる。 • ALT によるインタビューテストなどで日常生活や身近な話題に関する質問の内容を7割程度理解することができる。	• 既習の表現を用いてリズムやイントネーションに注意して話すことができる。 • よく知っている場所であれば、地図や道案内を見ながら道順を教えることができる。 • ややゆっくり話されれば、自分のスピーチに対する質問に答えることができる。 • 写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して簡単な語句や文を使って、身近なトピック（自分、学校、地域のことなど）について短いスピーチができる。	• 簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を読み、流れを理解しながら、内容を整理することができる。 • 簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を読み、8割以上理解することができる。 • 簡単な英語で書かれたら、旅行ガイド、レシピなどの実用的・具体的に内容が予想できるものから必要な情報を探すことができる。 • 学習を目的として書かれた新聞、雑誌の記事や生活、趣味、スポーツなど、日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取りだしたりすることができる。	• 身の回りの出来事や興味のあることなどを自分に直接関係のあることならば、簡単な説明文を書くことができる。 • 将来の夢やこれまでの思い出などに関する文を書くことができる。 • 簡単な単語や文法を使って、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを書く事ができる。 • 簡単な英語を使ってメールや招待状、写真や事物の説明文を書くことができる。